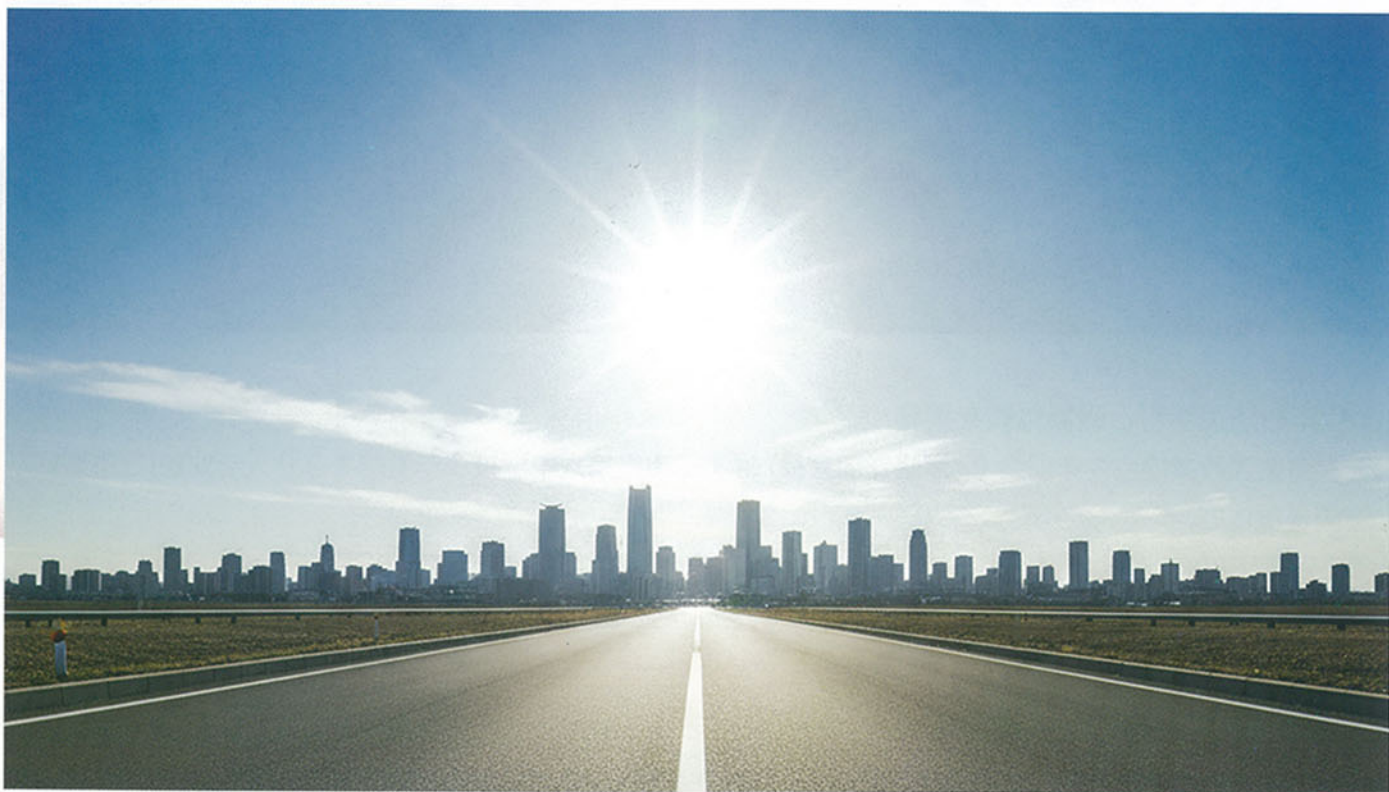


創造・喜び・実感産業

伝統と新技術の建設業 さあ夢の舞台へ 挑戦はつづく



目次

- 支部活動報告①中学生が建設業を体験 2~3
 青年部会が上田第六中で防災学習と職場体験
- 支部活動報告②育成事業
 中塩田小「盈進まつり」 4~5
 長門小で体験学習、上田千曲高は現場見学会など ... 6~9
- 千桜会 10
 プリザードフラワーリースづくり
- 支部活動報告③ 11~12
 育児・介護・年金制度の法改正セミナー、ハローワークと見学会
- 支部活動報告④ 13~14
 県現地機関・地元県議会議員と意見交換
- 建設業に新しい風 インタビュー 15
- 上小支部の仲間たち 16~17
- 支部活動報告⑤安全・防疫 18
 防疫演習、自主パトロール、編集後記

第六中学校で 防災の重要性を伝え 建設業を体験



今年も防災学習と職場体験を実施

長野県建設業協会青年部会（北澤隆洋部会長）は上田市立第六中学校3年生約130人を対象に講座を開きました。

8月27日の座学では、建設業の仕事を紹介するDVDの上映や台風19号での災害復旧の話、そして現場で働く女性技術者の話を紹介しました。生徒たちは真剣に話を聞く姿勢が見られ、建設業に興味を示してくれたのではないかと感じることができました。



台風19号災害の復旧に関わった宮下組の北沢智明さん

**六中
防災
フェス**

第六中学校3学年では、総合的な学習で『防災・減災』について学びました。地域の様々な方から学んだ内容を、自分たちの目線で地域に発信したいと考え『六中防災フェス』というイベントを企画しました。

活動内容
 ■受付開始 (13:40)
 ■オープニング (13:45)
 ■各ブース見学 (13:55~15:45)
 ■エンディング (15:50)

14個のグループがそれぞれのブースを持ち、発表します。建設業、流域治水、土砂チーム安心の蛇口、非常食、耐震化構造防災グッズ、避難所・段ボールベット、気候変動、避難訓練・煙体験道、道と川の駅

防災についてぜひ知りたいという方はぜひお越しください！

1/30 金

対象 防災に興味がある方
 場所 第六中学校体育館

六中ではこの体験を機に「防災フェス」を開催



ヘルメットをかぶり準備OK!

9月4日の体験授業では、模型を使って洪水の仕組みを実演したり、重機（バックホー）やドローン操縦の体験、VRカメラで臨場感ある現場の映像を観るなどそれぞれ取り組み、生徒たちはバックホーの操縦に四苦八苦しながら、建設業を体験しました。

2日間とも生徒たちは、積極的に参加し、とても充実した体験となりました。



バックホーを慎重に操作する



VRの臨場感は予想以上だった



ドローンの説明を真剣に聞く



模型で土砂災害のメカニズムを理解する

中塩田小学校の イベントで大盛況!



【 進祭り (9月13日) 】

上田市立中塩田小学校で行われた「 進祭り」に、建設業協会上小支部が初めて参加しました。

会場では、建設の仕事を手近に感じてもらえるよう、4つの体験ブースを用意。屋外では7台のミニバックホーを使った「建設機械の操作体験」が行われ、子どもから大人まで夢中になって操作を楽しんでいました。

屋内では、各社が持ち寄ったタオルで作る「クマのぬいぐるみ作り」コーナーが大人気！親子で協力しながら可愛いクマを完成させる姿があちこちで見られ、笑顔があふれていました。

また、タブレットを使った「現場3D体験」では、迫力ある映像に子どもたちから大きな歓声が。さらに「建設業紹介パネル展示」では、地域の暮らしを支える建設業の仕事を紹介し、皆さんに業界の魅力を知っていただく良い機会となりました。



7台のミニバックホーで操作に挑戦



重機操作は大人気で列が絶えなかった



VRの画面に興味津々



タオルで作れるクマに目を輝かせた



一日中大盛況だった



パネルで建設業を知る



中塩田小学校の生徒からの感謝のこぼれ



小学校での体験学習、さらに拡大

長門小学校建設業体験教室（7月17日）

今年も長和町立長門小学校5・6年生の授業の一環として、「建設業体験教室」を開催しました。この取り組みは、将来の担い手となる小学生に建設業への興味・関心を深めてもらう事を目的に、昨年より開催しています。

支部が発刊した「建設業図鑑」「けんせつ上小」を使い佐藤支部長が建設業の仕事を紹介し、小型バックホー試乗、ドローン操作、タブレットによるVR体験、動画視聴、長和町の道路や建物を紹介したパネル展示を行いました。

実際に体験して、児童たちは「楽しかった」と、また先生からは「児童たちにとって貴重な体験となりました」と感想を寄せてくれました。

この経験を踏まえて、将来、建設業の仕事へ就いてもらえれば嬉しいです。



佐藤支部長が建設業の仕事の説明



VRの中で工事現場を歩く



重機を実際に操作する



ドローンの飛ぶ様子に大歓声

Asisol. LLC (アジソル共催)

上田千曲高校の生徒へ自社をPR

企業説明会 (12月9日)

上田千曲高校建築科の1、2年生を対象に6社が個別ブースに分かれて自社を説明、PRしました。高校生に直接説明できる機会が少ない中で、この企業説明会は企業にとっても貴重な時間です。各社、工夫して高校生が興味を引くような内容、説明を行いました。

実施後の生徒からのアンケートでは、「いろいろな企業を知れて、建設業の魅力も知ることができた」「建設業はどんな仕事をするのかイメージすることができ、より建設業への興味が湧いた」などの感想を寄せてもらいました。

今回の説明会が将来的に地元建設会社への就職のきっかけとなってくれることを期待します。



北澤土建(株)



株栗木組



竹内工業(株)



竹花工業(株)



株羽田組



株柳屋建設

高校生現場見学会

上田千曲高等学校建築科1年生(10月24日)

信州上小森林組合様



齋藤木材工業(株)様 材木工場、同社ナガト工場



長野県は、県土の78% (約106万ha) を森林が占め、そのうち人工林が44万ha。人工林のうち半分以上の24万haをカラマツが占め、信州を代表する樹種といえます。長野県のブランド「信州唐松丸」を知る機会になりました。



大きな機械は少し怖かったけれど、たくさんの木を短い時間で板材にする作業工程におどろかれました。

立科町営移住促進住宅建設現場

(施工：三矢工業(株)様)



自然エネルギーを利用する「パッシブデザイン」が取り入れられていました。

立科町有林カラマツの無垢構造材やカラマツ芯去り材を使ってとてもこだわった住宅でした。

IPDロジスティクス(株)第2倉庫建設現場

(施工：竹内工業(株)様)



ドローンは100年前に戦争のために作られたということを知りました。

建設業は手作業と思っていましたが、機械や技術が進歩して便利になっていると感じました。

今年度は、上田地域振興局林務課の皆様にご協力をいただき、木の伐採作業から製材、加工、住宅の建築と木材を使った一連の流れを計画し、見学の運びとなりました。こういう見学会は初めての試みで、普段見ることのできない伐採現場ではチェーンソーや枝を掃き皮を剥ぎ、同じ長さに切断し運搬する機械を間近に見ることができ、その後製材され加工され家が建つ非常に貴重な見学をさせていただきました。午後は一転して鉄骨の倉庫の見学と、見どころ十分な一日となりました。

今年も皆様のご協力により現場見学会ができましたことに感謝申し上げます。ご協力ありがとうございました。

■ 上田千曲高校建築科3年生 (5月26日)

信州スカイパーク新陸上競技場建設
(施工：清水・松本土建JV様)



普段見ることのできない大きな現場を見学することができて勉強になりました。客席部分は鉄筋コンクリート構造なのに、工場で作って現場で組み立てるプレキャスト工法が使われていてビックリでした。

共催：松本建設事務所

ルートイングループ長野本部新築工事
(施工：鹿島建設(株)様)



S(安全)E(環境)Q(品質)D(工程)C(原価)の管理が、現場で大切であることを教えていただきました。

施工用の図面(施工図)を描く仕事があることを知り大型建築の現場に興味を持ちました。

■ 上田千曲高等学校建築科2年生 (11月10日) 共催：国土交通省関東地方整備局長野営繕事務所、長野県建設部施設課

小諸義塾高校(仮称)
(施工：(株)岡谷組様、(株)新津組様)



床スラブの型枠に、デッキプレートを使うことで他の型枠を使わなくてすむことを学びました。たくさんの小足場を見て、自分でも「やってみたい!」という気持ちになりました。

長野第1地方合同A棟(仮称)建設現場
(施工：安藤・ハザマJV様)



初めて足場に乗って工事をしているところを見学し、鉄筋のことについて実際見ることができて良かった。

若槻養護学校改修工事現場(施工：須坂土建工業(株)様)



窓の取っ手が縦になっていて、見た目のかわいく、自分が設計するときに生かせそうだと思います。また、増築の難しさ、楽しさを知ることができました。



誰もが自分らしく、長く働き続けられる建設業へ ～やりがいがある!働きやすい!成長できる!～

「女性が働きやすい職場は、誰もが働きやすい」と耳にする機会が増えてきました。地域で暮らす人々の安全・生活・未来を支える業界であり続けるために、業界の魅力情報を発信していきます。



建設業の魅力向上～上小けんせつ千桜会～

5月19日に『第1回 上小けんせつ千桜会』を開催しました。
今年度の活動計画や前年度の反省点、改善点など多くの意見が集まりました。

このメンバーで千桜会を
盛り上げていきます!



心と体をリフレッシュ～プリザードフラワーリースづくり～

久しぶりに開催した千桜会ワークショップ。近況を語り合いながらプリザードフラワーを使ったリースを作りました。個性あふれる仕上がりに大満足。楽しい時間を共有できた一日でした。



2種類のごはんと、おかずも種類豊富!いろいろなおかずをちょこちょこ食べられてとっても満足!

講師の笹平みと江先生の手早さに千桜会員は四苦八苦、でも最後は笑顔でした。クリスマスだけじゃなくオールシーズン飾れそう!

女子会のお弁当日記

今回は「倉升」さんのお弁当!
みんなで情報交換をしたり、ワイワイ美味しくいただきました。



美酒工房 倉升 上田市中央1丁目6-26

千桜会員募集中

上小地区の建設業界で働く女性を応援しています!



千桜会広報委員会

Member
会 長：石塚 夕起【(株)宮下組】
副会長：伊東 由香【(株)東部開発】
会 員：金井のぞみ【(株)創恒】
金井 彩香【(株)創恒】
大堀 優【(株)羽田組】

法改正の現状とポイントを知る

■ 育児・介護・年金制度 押さえておくべき法改正、知って得する法改正 (11月13日)

講師を務めた社会保険労務士の酒井香映氏(酒井総合事務所、上田市)が、2025年に改正された育児・介護休業法の改正ポイントについて説明。主には子の看護休暇(範囲の拡大)、残業の免除(対象の拡大)、育児や介護のためのテレワーク導入(努力義務化)、介護休暇の取得(要件緩和)などを解説しました。一方で生前贈与税加算が3年から7年へ延長されるなどの改正があることを説明し、「法改正を通じて自社の運営や自分の家庭に落とし込んでほしい」と呼びかけました。



「重要な課題」と話す佐藤支部長



酒井香映氏



スライドで理解を深める

世間での育児・介護に関する理解がだんだんと深まってきており、「パパ育休」の制度を積極的に使っていこうとする動きも建設業の中で広まってきています。雇用に関する環境整備、子供がいる方たちに向けての改正、介護が始まる時の相談できる職場作り等、仕事と家庭の両立を無理なく実現できるように国から具体的な制度が整えられていることを理解できました。育児、介護は身近に起こり得ることであり、今回の講習から助成金制度も幅広く活用できるものも多くあることも知ることができたので、活用できるものは積極的に活用し、会社や働く側が無理をしない更に働きやすい建設業になりそうです。

建設業の現場をハローワークへPR

職員向け現場見学会を開催 (8月28日)



うつくしの湯



現場での暑さ対策を説明する



武石橋



安全対策に関心を持つ職員

現場は、昨年に引き続き建築現場1件と土木現場1件を見学していただきました。この日は、夏真っただ中ということもあり、特に熱中症への対策に注目した質問が多く聞かれました。

今年6月から建設現場における熱中症対策が法的義務化されWBGT値(暑さ指数)28度以上または気温31度以上の環境下で、連続1時間以上または1日4時間を超えた作業は、対策を講じなければなりません。それに伴い現場では、指数計を設置し適度に休憩を取れるよう現場事務所とは別に冷房の効いた休憩所を設けたり、経口飲料を常備し水分補給を促し、熱中症による労働災害防止に気をつけていることを説明しました。こうした安全管理をハローワークの方々を知っていただくとともに、建設業へ安心して入職していただけるきっかけになる事を望みます。



懇談会

懇談会でハローワーク側からは模擬面接会やジョブフェアなどの求人対策、建設就業希望者向けの現場見学会、講習会を通じた資格取得支援を今後も進めるとともに、「建設産業のイメージアップにつながるアピールをしてほしい」との意見が出ました。

土砂災害警戒区域パトロール (6月24日・26日)



上田市丸子



長和町



東御市

今年から上田建設事務所主催の「土砂災害警戒区域パトロール」に参加しました。

この取り組みは、毎年6月「土砂災害防止月間」に行っているもので、昨年7月の「県の現地機関との意見交換会」の場で、当支部の同行を依頼したところ実現したものです。

6月24日午前は上田川東地区、午後は丸子地区。26日は午前東御市、午後長和町とそれぞれに急傾斜地や土石流警戒区域などを見回り、岩盤の亀裂や竹林や樹木の高低、斜面崩壊の有無などの項目を総合評価 (A～C) しました。梅雨に入り台風シーズンも迎え、これから土石流や土砂災害の危険が高まるので、その前に関係機関が連携し、点検することは重要なことと参加者は再認識しました。

県の現地機関との意見交換会 (7月31日)



意見交換会では、設計業務のあり方や入札制度、施工に関する現場からの要望などについて活発な意見が交わされ、行政と地域建設業界が本音で課題を共有できる、非常に有意義な場となりました。

当日は、地域の実情を踏まえた意見や改善提案が多く出され、参加者からは「現場の声を直接伝えることの重要性」を改めて認識する機会となりました。また、現地機関からは「地元建設業は地域社会を支える重要な存在であり、今後も持続していかなければならない」という力強い発言もありました。

建設業を取り巻く環境は、担い手不足や物価高騰など厳しさを増していますが、発注者と受注者が互いに理解を深め、両輪となって協力していくことが、業界の持続的な発展につながるものと考えます。今後もこのような意見交換の場を通じて、より良い建設行政と地域建設業界の発展に寄与していきたいと思えます。

地元選出県議会議員との懇談会



当支部では、上田建設事務所管内の発注量の確保と発注の平準化を求め懇談会を行いました。支部からは、2022年度と2024年度の工事の発注状況を提示。22年度と比較して件数で3割減、金額で4割減になった窮状を訴えました。

また、5月には上小管内の観光道路を中心に新規事業の「掘り起こし」を行い、「観光県長野」の道路事情を現場の写真を添えて提出しました。災害が起きたときではなく、地域の皆様が日々安全に暮らせる環境づくりを今後も訴え仕事量の確保を求めています。



Interview 風 建設業に新しい

青木建設工業株式会社社長 青木友和さん

大学卒業後に県内の金融機関に就職。丸子や軽井沢で個人宅を回りました。その時に相手の懐に入り、困り事を引き出す姿勢が現在の仕事の土台になりました。紹介や口コミが仕事を呼ぶ世界で、「信頼」が何よりの資産といえます。

工場や商業施設の新築やリフォームは「対・人」で決まることが多く、施主の意向を丁寧にくみ取ったうえで、設計・提案に反映させます。打ち合わせで得た情報を社内で丁寧に共有し、現場側とのズレをなくすことも意識します。「要望の背景まで聞くと、予算配分や優先順位が見えてくる」という。「仕事は終わってからがメンテナンスの始まり。丸子という地域で続けてきたからこそ、困った時に頼られる存在でありたい」と思っています。

仕事の疲れはサウナで癒やしますね。上田市内にも新しい施設が増えたので行くのが楽しみで



す。熱波師が扇ぐ熱風の後、外気浴で深呼吸する瞬間に「ととのう」感覚が訪れる。頭が切り替わり、翌日の段取りも整理できます。

竹内工業株式会社社長 竹内広幸さん



大学卒業後は横浜の建設会社で働いてから竹内工業に戻ってきました。創業50年の土木と建築を二大柱とする総合建設業です。土木事業は竹内工業の原点、わたくしの基本であります。最近で

はICT施工を取り入れながら生産向上を目指しております。土木分野でオートメーション化をすることが将来的な目標です。

昨年5月に軽井沢町の谷川建設をグループ化しました。歴史ある会社なので、町の公共工事も取れており、当社にとってもプラスになったといえます。軽井沢というブランドは今でも続いており、別荘関連での問い合わせはあります。私たちは独自の提案でその要望に応え「仕事を切らさない」形を構築したいと考えています。あとは、2社間で技術者を行き来させることで互いの良い部分を出し合って、それぞれで吸収しながら、同じベクトルで進む。それが、ひいてはグループ全体の底上げにつながればよいと思います。

また、社内のDX化の促進も急務です。社員の現在の業務や進捗を把握できるシステムの構築で「見える化」を推進します。

長野県建設業協会

<p>博 建設業 青木建設工業株式会社</p> <p>クレームゼロの仕事を心掛けています。</p> <p>代表取締役社長 青木 友和</p> <p>上田市上丸子1706 TEL.0268-42-3127 FAX.0268-42-3708</p> 	<p>"地球修理工の感動産業"</p> <p>建設・環境・人材育成事業を通じて地域の発展を願い 地域と行政の橋渡しをする……</p> <p>SUNOHARA 春原建設株式会社</p> <p>代表取締役社長 春原文浩</p> <p>長野県上田市住吉1-7</p> <p>"困ったら"…まずは電話!! TEL.0268-22-7018 FAX.0268-27-4094</p>  
<p>特定建設業</p> <p>要 有限会社 岩下組</p> <p>代表取締役 岩下 通孝</p> <p>小県郡青木村大字村松1721 TEL.0268-49-2023 FAX.0268-49-2774</p>  	<p>善 千曲建設工業株式会社</p> <p>上田市諏訪形973-1 TEL. 0268-22-3835</p> <p>E-mail : info@chikumakk.co.jp https://www.chikumakk.co.jp</p> <p>CHIKUMA チクマホーム</p> <p>チクマの土地 チクマのノウハウ チクマの土壌 チクマのシステム</p> 
<p>法令を遵守し施工致します</p> <p>勝 株式会社 金井組</p> <p>代表取締役 北田 雄一</p> <p>小県郡長和町大門119 TEL.0268-68-2137(代) FAX.0268-68-2677</p> 	<p>TOBUKAIHATSU 確かな技術・誠意ある施工 地域からさらに信頼される会社を目指して!!</p> <p>東部開発株式会社</p> <p>代表取締役社長 柳沢 昌美</p> <p>〒389-0506 長野県東御市祢津1304 TEL.0268-62-0480 FAX.0268-64-3848</p> <p>E-mail : info@tobu-kaihatsu.jp</p>   
<p>自然に囲まれたこの環境を私達の手で大切に守りたい。 後世に残る品質と信頼を目指して…</p> <p>KITAZAWA 北澤土建株式会社</p> <p>本社 長野県上田市武石沖471-1 TEL.0268-85-2039(代) FAX.0268-85-3394 URL:https://www.kitazawadoken.co.jp E-mail:master@kitazawadoken.co.jp 東御支店TEL.0268-62-1674</p>  	<p>HATA 株式会社 羽田組</p> <p>代表取締役社長 佐藤 公明</p> <p>小県郡長和町和田1540-1 TEL.0268-88-2012 FAX.0268-88-2774</p>    
<p>株式会社 倉島組</p> <p>代表取締役 倉島 卓司</p> <p>上田市上丸子1385 TEL 0268-75-7078 FAX.0268-75-7079</p> 	<p>大正3年創業 誠意と信用と技術で地域社会に貢献する</p> <p>株式会社 宮嘉組</p> <p>代表取締役社長 宮島 聖二</p> <p>上田市蒼久保1416-1 TEL.0268-35-0032(代) FAX.0268-35-0086</p> 
<p>「常に誠実であれ!」をモットーに 「技術」と「品質」で地域の明日を創造します。</p> <p>音 株式会社 栗木組</p> <p>代表取締役社長 栗木 悦郎</p> <p>上田市長瀬3918 TEL.0268-34-7666 FAX.0268-35-3433</p>  	<p>未来を建てる。それが私たちの使命です。</p> <p>株式会社 宮下組</p> <p>代表取締役社長 石塚 博敏</p> <p>〒386-0017 長野県上田市踏入二丁目1番17号 TEL.0268-22-0271(代) FAX.0268-25-6123</p>  

地域を支える基幹産業
安全・安心な未来へ



上小支部の仲間たち

令和8年2月現在



柳屋建設株式会社 明治14年創業



代表取締役 小河原嘉彦
上田市中央 2-13-17 TEL.0268-24-3220
<https://www.yanagiyakk.co.jp/>




株式会社 関南

代表取締役 大森一馬
上田市住吉331-3
TEL.0268-25-0706 FAX.0268-25-0707
[URL]<https://www.tonamil073.net>



「頼りにされる人」の集まりでありたい



TAKEUCHI
竹内工業株式会社



代表取締役社長 竹内広幸
〒384-0403 長野県東御市御牧原2433-1
TEL.0268-67-3566 FAX.0268-67-3587




株式会社 堀内建設

周辺環境に配慮した土木工事を提供します
技術力と信頼で地域へ貢献します

代表取締役 金森潤哉
上田市真田町傍陽2918-1
TEL.0268-75-8468 FAX.0268-75-8469




株式会社 創恒

代表取締役 金井彩香
上田市古安曾1593-1
TEL.0268-39-2888 FAX.0268-39-2889



竹花工業株式会社
田中支店

取締役副社長田中支店長 山浦友二
東御市県518
TEL.0268-62-0144 FAX.0268-62-1119




株式会社 小山産業

代表取締役 倉島万穂
小県郡長和町和田1485番地1
TEL 0268-88-2045
FAX 0268-88-2035




建設業

池田株式会社 TEL.0268-72-2251 FAX.0268-72-2245
上田市真田町長7166-2
代表取締役 池田豊文

元祖 やきとり 備長炭焼

千串屋

TEL.0268-71-0357 FAX.0268-71-0358




三共テック株式会社

代表取締役社長 須江啓一

〒386-0002 上田市住吉370-1
TEL.0268-23-1842 FAX.0268-27-0909
[URL]<http://www.3-kyou.co.jp/3-kyoutec/>





MATSUI 技術・品質・サービスを地域の皆様へ!!

株式会社 松井建設

代表取締役 松井智哉
長野県上田市武石小沢根215-1
TEL.0268-85-2709 FAX.0268-85-2409

信頼と技術と真心でお応えする住み良い街づくりのパートナー

山眞建設株式会社

代表取締役 山岸信幸

長野県上田市芳田2114-7
TEL:0268-35-3651
FAX:0268-35-3688
URL:<https://yamashin-c.jp/>
E_mail:info@yamashin-c.jp








特定家畜伝染病防疫演習

県・市町村とともに当支部も参加(10月1日)

小諸市の県農業大学校で特定家畜伝染病防疫演習を開催。県の現地機関、近隣市町村の担当者など130人が参加しました。雨の中でしたが、当日は豚の搬出を想定した訓練で車載のクレーンを操作しながら作業手順を確認しました。

今年度は、東御市の養鶏場で鳥インフルエンザが発生した想定で集合し、健康チェック後に防護服に着替え、本番さながらの訓練を行いました。ただ埋却については、豚熱想定で豚1匹約300kgの土のうをクレーンで吊るし運搬する訓練となりました。今年も演習のみで実際の出勤がない事を願います。



自主パトロール

皆様ご安全に(10月22日)



安全部会員が中心となり会員企業の工事現場をパトロールしました。

これから冬を迎え降雪や気温の低下で労働災害が起きやすくなりますので、安全管理の徹底を呼び掛けてきました。

パトロール後の報告会では、各現場の創意工夫点を確認しました。今回は、注意を促すメッセージが表示される屋外ディスプレイを導入した道路工事現場が紹介されました。



令和7年、建設業は人手不足や長時間労働の改善、資材・エネルギー価格の上昇など、さまざまな課題に直面しています。また、建設業法や労働安全衛生法の改正も注目されました。当協会では、未来の建設業を支える若者に業界を知ってもらうことを大切にしています。中学生には建設機械やドローン、CADの体験を、高校生には現場企業説明会を実施。さらに家畜伝染病埋却演習など地域の安全活動にも参加し、建設業の魅力や役割を身近に感じてもらえる取り組みを続けています。

発行所 上小建設事業協同組合
TEL 0268 - 24 - 8133 FAX 0268 - 27 - 1425
<https://jousho-k.jp/>



発行責任者 佐藤 公明
編集責任者 岩下 通孝
制作 新建新聞社